
煙草物語・・・シガー・ストーリー 第7話「結婚」-e10b4

小箱町まりあ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

煙草物語・・・シガー・ストーリー 第7話「結婚」 - e10b4

【Nコード】

N6272Z

【作者名】

小箱町まりあ

【あらすじ】

私と佑二は恋人同士になり、結婚もして、煙草を吸いながら、幸せに暮らしていた。

喫煙と禁煙の狭間。(前書き)

恋人となった佑二は、金には汚かったが、それ以上に優しくかった。私は彼を失いたくなかった。

喫煙と禁煙の狭間。

第7話「結婚」

あれから月日は流れ友達だった佑二と再び恋人同士になっていた。記憶は残ってなかった。

佑二は貧しい生保と障害年金の生活なので、私達のデートは私の大きな年金のお金を崩してしており、それがもつて時々ケンカもした。それでも、私達は恋人同士で、そして、更に佑二は足りない生活費も私にせざるようになっていたが、風間を本当は愛している引け目からお金を渡し続け、そんな彼氏である佑二と婚約の約束も交わすのでした。

ずっと、1人の男性「ひと」から愛されたかった私は、佑二をお金がかかっても手放したくはなかったのです。

そして、クリスマス・イヴには小さなダイヤの婚約指輪も貰い、遠くの遊園地の・クリスマス婚約式；に2人して参加して、幸せを味わい、その後、両親も交えて写真ウェディングもして、友達にも祝福してもらい、3月のある平凡な日に私達は婚姻届を出して、結婚するのでした。

夫となった佑二は妻である私に対し、物凄く優しく、それでいて女の影もなく、やや浪費家であるところを除けば、ほぼ100点満点な夫であった。

私達はよく駅の近くの「ドトール・コーヒー」に行き、アイス・コーヒーと煙草で憩い、仲良く連れ添ってきた。この出会いからの10年間、私は本当に幸せだった。

ただ、9年目に私は心臓を壊し、煙草の生活にピリオドを打ち、こうして、私の新しい禁煙生活・・・ノー・スモーク・ストーリーが始まったのであった。

そして、その新たな生活には常に夫と共にいるのだ。禁煙生活・・・5ヶ月目。まだまだ、始まったばかり・・・。

(終わり)

喫煙と禁煙の狭間。(後書き)

佑二と結婚した私は、貧しいけど、愛と煙草のある生活に、満足していた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6272z/>

煙草物語・・・シガー・ストーリー 第7話「結婚」-e10b4

2011年12月20日23時47分発行